



伊佐市立 湯之尾小学校

児童数 57人
学級数 7クラス



《テーマ》

自他のよさや違いを認め合い、児童一人一人が輝く学校づくり

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究スケジュール
本校児童は、現在57人と年々減少傾向にあり、昨年度から3・4年生で複式学級となった。そのような状況の中、少人数のよさを生かし、縦割り清掃や朝の体力づくりなどの活動において、異学年との交流も図られている。その一方、人間関係が固定化され、交友関係の中で、自己中心的な考えから友達に思いやりをもって接することについて課題のある児童もいた。そこで、自分も他者も大切にできて、全ての児童が気持ちのよい学校生活を送ることができることを目指して、本テーマを設定した。	5月6日（木）～5月8日（土） 校内人権週間 5月31日（月） 人権集会 人権同和教育研修 8月2日（月） 人権同和教育研修 9月上旬 人権ポスター制作 11月30日（火） 人権集会（全校朝会） 12月1日（水）～12月3日（金） 校内人権週間 1月21日（金） 家庭教育学級「人権教室」 1月24日（月） 人権同和教育研修

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

- **人権集会の実施（全児童1時間）**
「人権について考えよう」をテーマに、クイズやグループ活動等を通して、他の人のことを知るためには、みんなと話したり、聞いたり、認め合う関係づくりが大切であることを学ぶことができた。
- **校内人権週間の取組（5月と12月に実施）**
 - ・ 「ぼかぼか言葉」を雲の枠に記入し掲示（下学年）
 - ・ 人権標語の作成と掲示（上学年）
 - ・ 「友達のよいところメッセージカード」を友達に送り合い、その後「心のもみの木」に掲示（全学年）
 - ・ 人権に関する講話（5月校長、12月教頭）
- **人権ポスター作成の取組（全児童）**
人権に関する理解を深めるために、全児童が人権ポスターの制作に取り組み、県の人権ポスターコンクールに出品している。
- **人権意識を高めるための教職員研修及び家庭教育学級**
1・3学期に、県教育庁人権同和教育課から講師を招き、職員研修として「教職員として身に付けるべき資質や能力や人権尊重の視点に立った学習活動づくり」「インターネット等による人権侵害」等についての講話を聞いたり、ワークショップを行ったりした。また、保護者を対象に「児童虐待等を含む子供の人権」と「性的マイノリティに係る人権問題」の講話をいただく家庭教育学級も実施した。このような研修等を通して、人権問題についての理解を深めることができた。



【人権集会】



【人権標語】



【家庭教育学級】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 「人権感覚」は、言葉だけで説明して培われるものではない。自分で「感じ、考え、行動する」ためにも、主体的、実践的な学習が大切であることを全職員で共通理解することができた。
- 人権集会や校内人権週間での取組を通して、お互いのよさを認め合うことの大切さに気が付き、友達への共感的な態度が見られるようになってきた。
- 今後も全教育活動を通して、自分や他者のよさに気付かせ、互いを大切にできる仲間づくりに努めていく必要がある。（構成的グループエンカウンター等の教育課程への位置付け）
- 引き続き、年間2回実施している「学校楽しいーと」を活用しながら、児童理解の深化に努め、自己肯定感を高めることを意識した学級経営に努めていきたい。